



こういう場じゃないと
行き会えね〜

は〜るかぶりだね〜♪
マメだったかい？



『転ばぬ先の杖』
福祉用具業者さんより、
新製品の紹介と
使い方の説明



やまびこ 茶屋の歴史



たんぼぼの家・桜木園の販売
「どれどれ、買ってか♪」

やまびこ茶屋は認知症カフェとして、平成27年からデイサービスセンター竜東やまびこ園で年5回開催しています。

認知症の方や家族の方が出かけたり、相談したりできる機会、地域の方に認知症を知ってもらう機会、地域の方が相談する機会となり、地域の方たちが気軽に立ち寄れる場となるように取り組んできました。

9月21日(土)に第21回を行い、福祉用具について勉強しました。21回通算で約700名の方に参加していただいています。お茶を飲みながらお友達と話す楽しそうな声が会場にあふれています。足湯や音楽療法を楽しんだり、認知症や健康についての勉強をしたりと、いろいろなイベントを行ってきました。また、桜木園、たんぼぼの家の利用者さんが製品販売を行っており、買い物の一つの目的にされている方もいらっしゃいます。

今後も地域の方に必要とされるやまびこ茶屋を続けていきたいと思っています。

発行者

駒ヶ根市社会福祉協議会 (ふれあいセンター)

駒ヶ根市梨の木2-25

<http://www.kmshakyo.org/>

TEL.0265-81-5900 FAX.0265-81-5745



今号の話題

- ✿ 赤い羽根共同募金
- ✿ ふれあい広場報告
- ✿ 県社会福祉大会表彰
- ✿ なんでも伝言板
- ✿ 善意銀行

赤い羽根共同募金 運動が始まります!!

10月1日から12月31日まで

平成30年度、駒ヶ根市では皆様から総額6,967,659円を共同募金にお寄せいただきました。このうち約7割が駒ヶ根市へ還元され、児童青少年福祉、高齢者、障がい者、地域福祉のために使われています。本年も『じぶんの町を良くするしくみ』をキャッチフレーズに、10月1日から全国一斉に募金運動が始まります。市内の各所にご協力をいただき、募金箱を設置させていただきました。どうぞあたたかなご支援をお願い申し上げます。



令和元年度 駒ヶ根市共同募金委員会 目標額 6,840,000円

*世帯あたりの募金目安は1,000円です。

“地域の防災は自分たちで”

昨年、駒ヶ根市では町二区から“防災物品保管庫”購入の申請があり、長野県共同募金会「安心安全なまちづくり活動」支援配分による助成を受けました。



【募金の方法と昨年度の募金額】

個別募金	5,657,160円
法人募金	968,600円
学校・職域募金	209,298円
その他	132,601円

ありがとうメッセージ

この度は、皆様方からの赤い羽根共同募金の配分金で、町2区のメイン避難所のふれあいセンター隣に、防災用品を保管する物置を設置することが出来ました。いざというときの備えが出来、地域と致しまして一安心です。ありがとうございました。

ご協力
くださった皆様、
ありがとうございました!!

長野県共同募金会広域配分金事業を 公募いたします。

1. 「安心・安全なまちづくり活動」支援配分

会則等を有する非営利団体で、住民を対象に行う防災、防犯啓発・実施事業で令和2年4月から1年以内の間に行う事業が対象です。(配分金は1団体20万円を限度)

2. 「地域生活支援活動」配分

孤立をなくす地域住民による包み支え合い活動

会則等を有する非営利団体で地域住民とともに行う包み支えあう活動で令和2年4月から1年以内の間に行う事業が対象です。(配分金は1団体5万円を限度)

3. 「県域社会福祉団体」配分

定款・会則等を有し市町村の地域を越えて活動を行う団体で、各種のコミュニティーサービス、ボランティア活動が対象。配分金は事業費の75%以内で配分額は50万円を限度

◆申請書類の請求等お問合せは、
駒ヶ根市共同募金委員会 (社協内)

◆申請受付期限 **令和元年11月20日(水)**

あなたの活動を応援します!!

(駒ヶ根市共同募金委員会配分金事業)



駒ヶ根市共同募金委員会では、地域福祉の推進、駒ヶ根市内の地域の特性をいかした発展性・継続性のある事業、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを目指す施設・団体・グループを対象に共同募金配分金を公募いたします。

対象団体 / 市内を拠点に活動し、地域福祉に貢献することが予測される施設・団体及びグループ

対象事業 / ①備品の購入・修理 ②文化・スポーツ活動
③講演・研修費 ④調査・研究費

助成金額 / 1件10万円までとします(本事業予算30万円)

応募締切 / 令和2年1月31日(金)



善意銀行報告

あたたかな真心、ありがとうございました。

(2019年7月8日~9月10日)

氏名等	金額(円)・物品
身体障害者福祉協会 (高砂園へ)	47,239円
日本発条労働組合伊那支部	90,000円
シニア大学駒ヶ根同窓会	40,000円
匿名	12,000円
林あき美様遺志金 (竜東やまびこ園)	3,000円
駒ヶ根ライオンズクラブ	食料品
宮澤 勝人 様	お米(30kg)12袋

第68回長野県社会福祉大会

9月20日(金)、駒ヶ根市文化会館にて「みんなで取り組む地域共生・信州」をテーマに開催されました。

大会では県の今後取り組む福祉指針「地域共生・信州アクションプラン」が紹介されました。

また、長年地域貢献に尽力された民生児童委員やボランティア団体の皆様への表彰があり、駒ヶ根市でも7名の方が表彰されました。おめでとうございます。

大会後半では「信州共生みらいアイデアコンテスト2019」の結果発表が行われ、駒ヶ根工業高校の「駒工Z」チームが考案した「介護職のためのゆっくりリフター」が、「長野県教育委員会賞」を受賞しました。

講演では「ごちゃまぜで挑む 共生の地域づくり」と題して雄谷良成氏(公益社団法人青年海外協力協会会長・社会福祉法人佛子園理事長)がありました。今後私たちが地域づくりに臨むための重要なヒントの数々を教えてくださいました。

～おめでとうございます～

長野県社会福祉大会受賞者



右から 民生児童委員協議会様、演歌体操はなみずき様、多田美和子様、老松 貞様、はつらつハーモニカ様、赤須弘侑様、宮澤清高様



なんでも伝言板

申し込み・お問い合わせは社協へ ☎81-5900

市民の福祉活動に助成します

福祉を考える企業の会より

「福祉活動助成金」の募集を行います。

応募資格 福祉のまちづくり、市民の福祉の充実等に関わる活動をしている団体、グループ等

申込方法 活動の目的、計画、経費の状況が分かる資料を添えて、所定の申込用紙にて1月下旬までに申請してください。

金額 1件10万円以内

助成金をご希望の方、詳しいことをお聞きになりたい方は下記までご連絡ください。

お問合せ 福祉を考える企業の会事務局 駒ヶ根市社協 TEL 81-5900 担当 宮崎

高砂園より ~お知らせ~

- 第38回ふれあいの集い ~ご参加ください~
令和元年10月27日(日) 午前9時~午後2時
- 子ども服を自由にやり取りできるコーナーをつくりました。不要になった子ども服(洗濯済の物)のご協力をお願いします。
- 朝顔の会:11月頃から開催予定です。精神疾患がある方のご家族の皆さんが気楽に集える場です。

お問合せ 高砂園 担当:北澤 電話 82-2012

認知症高齢者グループホーム ほほえみの家 パート募集について

ほほえみの家では介護又は食事作りをお願いできる、パートさんを募集しています。

資格の有無は問いません。明るく元気な方大歓迎です。お待ちしております。

お問合せ ほほえみの家 担当:北原 電話 81-7570

サンスポート駒ヶ根 イベント開催のお知らせ

★年末企画 アクアカーニバル★

障がいの有無を問わず、どなたでも参加できる楽しいプールイベントです!未就学前の小さなお子様から高齢者の方までみんなで盛り上がりましょう!

日時 令和元年12月15日(日)
10時~13時00分頃まで【予定】

内容 みんなでつなごうリレー、水中レクリエーション、水中ダンス、滑り台などの楽しい遊具も自由に使えます!

会場 長野県看護大学 プール棟

対象者 障がいのある方、ない方どなたでも

参加費 無料 ※詳細はサンスポート駒ヶ根までご連絡ください。

申し込み・問合せ

障がい者支援センター駒ヶ根 サンスポート駒ヶ根
TEL/FAX 82-2901 担当:吉田・石村

第15回にしこま祭を開催

日時 令和元年10月19日(土) 9時45分~14時30分

場所 長野県西駒郷体育館及びその周辺

内容 「第15回にしこま祭」
テーマ 『未来につなぐ 笑顔の一步』
【作品展・ワークショップ、ステージ発表、模擬店】

お問合せ 長野県西駒郷 TEL 82-5271

大原こだま園より御礼&お願い

・前号にて「フェイスタオルが余っていましたらご寄付を!」とお願いしましたところ大勢の方よりご協力を頂きました。また、玄関に沢山のタオルを届けて下さった方がいらっしゃいましたが直接お礼を言えませんでした。この場をお借りして御礼申し上げます。

フェイスタオルにつきましては引き続き募集しております。
・午前中、ご利用者とお話ししたり、整髪のお手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しております。

連絡先 大原こだま園 担当 林・原 電話 83-6986

第35回 ふれあい広場

～であいふれあい ともにいきるまち～

～ふれあい広場ご協力の御礼～

令和最初となる第35回ふれあい広場が9月1日に開催されました。天候に恵まれ、大変多くの皆様にご来場いただき楽しいひと時を過ごしました。

一方で35年という期間の中で福祉を取り巻く環境も大きく変化し、時代に即したふれあい広場の在り方について原点を見つめ直す時期が訪れてきていることを多少感じました。

「これからも続けて行ってほしい」という嬉しい言葉も閉会式に披露されましたが、その思いに応えるとともに、皆で支える駒ヶ根市の福祉の象徴として、今後もふれあい広場がその役割を果たしていってほしいと思います。

未熟な実行委員長でしたが、熱意あふれる多くの皆様のお力により、素晴らしい第35回ふれあい広場となりました。改めて感謝と御礼を申し上げます。

第35回ふれあい広場 実行委員長 菅沼 孝夫

ふれあいの木



今年もあたたかいメッセージの実をたくさんつけました。

オープニングセレモニー



ガールスカウト 鼓笛隊・ボンボン隊
広場が華やかになりました。



幼い子どもさんも高齢の方も、車イスを利用していても、誰でも参加できるスポーツです。和気あいあい楽しめました。

パラスポーツのポッチャ体験コーナー



『ふるさと』の曲に合わせて、「手話ダンス集いの会」の皆さんがダンスを披露してくださいました。みんなで手と手をつなぎ、合唱しました。

閉会式



テントでふれあい



大勢の皆様が楽しみました。

赤い羽根共同募金御礼

ふれあい広場当日、中学生など多くのボランティアさんに募金運動をしていただき21,244円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。



ふれあい広場バザー御礼

今年のふれあい広場バザーの売り上げは184,525円となりました。貴重な物品をご提供くださり、また、売り上げにもご協力いただきありがとうございました。